

地名字音轉用例

022682-000-9

291.034-M893tk

地名字音轉用例

本居 宣長/著

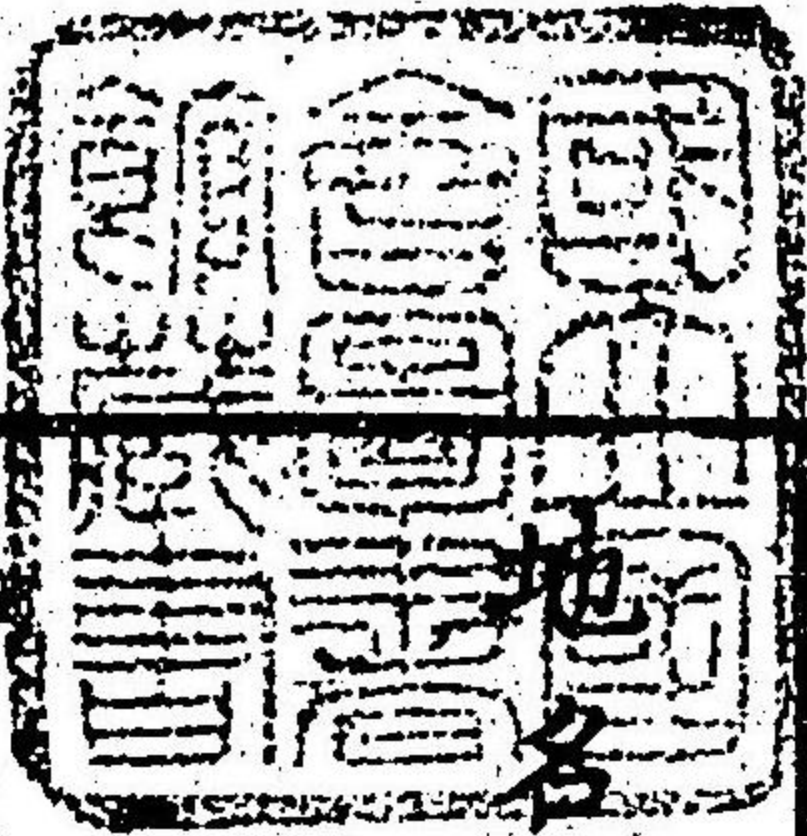
〔刊年不明〕

ADB-0458



291.034
M893tk
tk

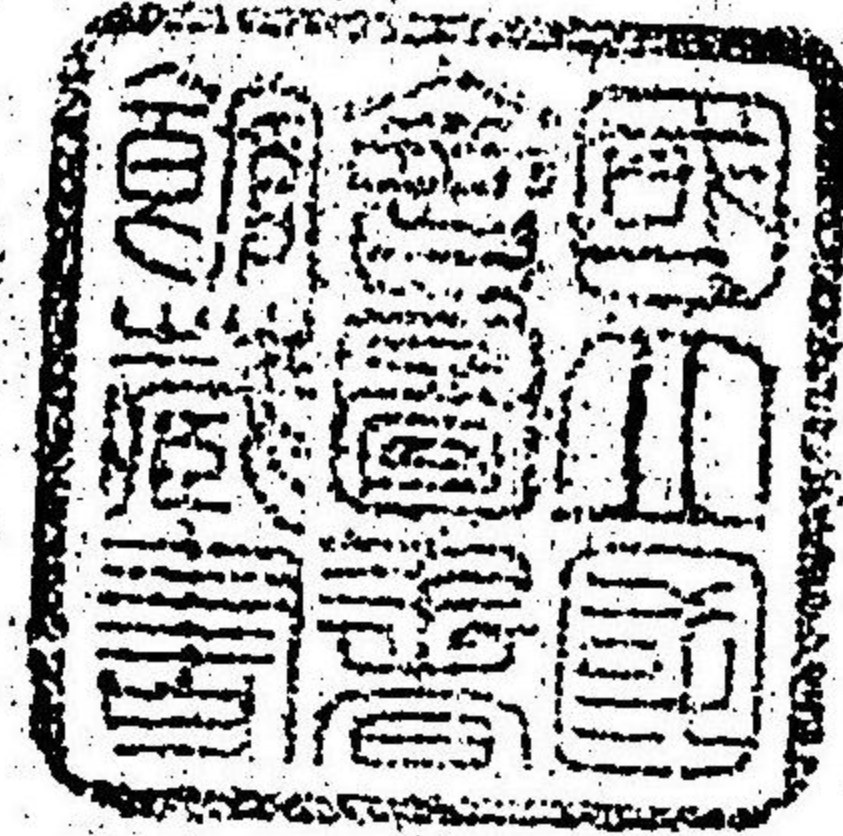
291034 M893t k



地名
字音轉用例

本居宜長著

凡ノ諸國名又郡郷ナドノ名ドモ古ハ文字ニカ、ハ
 ラズ正字ニマレ借字ニマレアルベキマ、ニ身刺^{ミサ}三
 ノ野科野道奥^{ミチノ}縮羽^{シユク}針間^{ハリマ}津嶋^{ツシマ}ナドヤウニ書キ或ハ上毛^{カミウラ}
 ノ野下毛^{シノカ}野多^{ノタ}遲麻^{チマ}ナド字ノ数ニモカ、ハラズ三字ナ
 ドニモ書タリシヲヤ、後ニナリテ字ヲ擇ブコト始
 マリ又必^ス二字ニ定メテ書コトハナレルナリ續紀
 和銅六年五月詔ニ畿内七道諸國郡郷名^{ナメ}著好字^{ヨキジ}ト見
 工延喜民部式ニ凡^ニ諸國部内郡里等名^{ナメ}並用^ヒ二字^ニ必^ス取^ル



209966

○地名字音轉用例

。一

嘉名^ヲナド見エタルが如シ。嘉名ト云モ但シ和銅六年ヨリ前^{サキ}ヨリモ既^ヤク字ヲ擇バレシコトモ有^リシトハ見エタルヲ彼時ニ至^リテナホタシカニ定メラレタルナセル多クレバ和銅ノ後ニモナホツギク改メラレシモ有^リシナルベシ。又必^ズ二字ニ定メラレタルモ延喜式ヨリ始^メレルコトニハ非ズ。既^ヤク奈良朝ノホドヨリ多クハ二字ニ書^リト見エタリ。サテ國郡郷ノ名カクノ如ク好字ヲ擇ビ必^ズ二字ニ書^キテハ字音ヲ借^リテ書^ク名ハ尋常^{ヨソツネ}ノ假字ノ例ニテハ二字ニ約^ズメガタク。

字ノ本音ノマヽニテハ其名ニ叶ヘ難キガ多キ故ニ字音ヲサマ^グニ轉^ジ用ヒテ尋常ノ假字ノ例トハ異ナルガ多キコト相^{サガ}模^ミノ相^{サカ}信^{シチ}濃^ノ信^チナドノ如シカ、ルタグヒ皆是^レ物^トシキ字ヲ擇ビテ必^ズ二字ニ約^メムタメニ止^ム事ヲ得ズ。如此^クサマニ音ヲ轉用シタル物ナリ。然ルニ後世人此^ノ義ヲタドラズレテ國郡郷ノ名ドモノ其字音ニアタラザルコトヲ疑フ者多シ。殊ニ漢學者ナドハタゞ漢籍ヲ見馴タル心ニテ字ヲ本ト心得ルカラ其音ニ當ラザル地名ヲバ後ニ訛^レルモノトシテタトヘバ相模ハモトサウモ信濃ハレンノウ

ナリシヲサガミシナトハ。後ニ訛レルニトヤウニ
サヘ思フメリ。是イミシキヒガコトシ。サガミシナノ
ハ。本ヨリノ名ナルニ。相模信濃ナドノ字ハ。後ニ填^{アテ}タ
ルモノニテ。末ナルコトヲ辨ヘザルモノシ。是ニヨリ
テ吾今カ、ル惑ヲサトサムタメニ。地名ノ唱ノ其字
ノ本音ニ合ザルモノヲ。類ヲ分テ聚^チ奉^テ。轉用ノ例ヲ
示スナリ。

○韻ヲ省キテ用ヒタル字音ハ。尋常ノ假字ニモ例多
ク。ツネノ事ナレバ。此ニハ舉^ス。國名ノアハラ。安房ト
書ルタグヒ是ナリ。

○凡ソ此ニ舉ルハ。國名郡名郷名ニテ。和名抄ニ出タ
ルマ、ナリ。其餘ノ地名ハ。大カタ舉^ズ。然レドモ其モ
名高ク常ニ出ルヲバ。思ヒ出ルマ、ニ。彼此トアゲタ
ルモアリ。

○和名抄諸國ノ郷名ノ中ニ。字音トオボシキハ。此ニ
舉タル外ニモ。ナホイト多カレドモ。唱ヲ注セザルハ。
イカナル名トモ知^リガタレバ。皆漏^{モラ}セリ。其中ニ。其國
ニテハ。其名今モ残りテ。唱ノ知ラレタルモアルベキ
ヲ。其ハ此ニ舉タル例ドモニ。倣^{ナラ}ヒテ。其轉用ヲ知ベシ。
○此ニ舉タル凡テノ例ヲ。初條ナルサガラカニテ云

△先、さぐりうと擧タルハ、其地名ナリ。次ニ相樂ハ、其音ヲ轉ジテ當タル字ニ決ニ其下ニ細書ニ山ト記セルハ、山城國ノヨシシ。凡テ諸國何レモ、省キテ一字ヲ出セリ。郡ト記セルハ、郡名ノヨシナリ。郷ハ郷名ナリ。又郡トモ郷トモシルサバルハ、郡郷ノ外ニ決ニ佐加良加ト記セルハ、和名抄ニ注セル唱ナリ。和名抄ニ唱ヲ注セザルハ、他古書ニ見エタルヲ以テ記ス。其ハ其書ノ名ヲ擧グ、凡テ何レモ右ノ例ヲ以テ心得ベシ。

○さがむ 相模 國 佐加三 相ハサウノ音ナルヲ。韻ノウヲ轉シテサガニ用ヒタリ。此國名ハモトサガニ佐加三ト注シタルハ、後ノ唱ナリ。古事記ニ相武抄書キ、哥ニモ佐賀牟トアリ。撰字モ、ノ音ナレバ、ムニ近クシテ、ミ。○さがら加 相樂山 佐加良加 相ヲニハ遠シ。○さがら加 相樂山 佐加良加 相ヲサガニ用ヒタル。上ニ同ジ。ハ樂ノユト。○かみ 香美土郡 加カミ 美。○いかバ 伊香河 伊加カミ。○かバ 香阿郷 加カミ 美。○いかバ 伊香河 伊加カミ。○かバ 香也。香止郷 備前 加カミ 止。ユレラ 香ヲカミニ用ヒタル。上ノ相ノ例ニ同ジ。以上ウノ韻ヲガニ用ヒタリ。

○おしぎ 愛宕山於多岐 ○ふぎの 宕野郷多木
 乃 ヌレラ宕ハタウノ音ナルヲタギニ用ヒタリ。
 ○よろぎ 餘綾郡相与呂岐 綾ハリヨウノ音ナルヲ。
 リヨヲ直音ニ韻ノウヲギニ用ヒタリ。 ○くらぎ
 シテロニ用ヒタリ。 ○みねぎ 美囊播美奈木 ○ふぎ
 久良郡久良岐 ○みねぎ 美囊播美奈木 ○ふぎ
 ま 當麻郷多以末 此郷名タギマナルヲ和名抄ニ
 ノ 唱ナリ古事記ニ當麻岐 〇ぬとぎ 布當山万葉六
 麻トモ當麻トモアリ。 〇ぬとぎ 布當山万葉六
 ニ見エタリ。イマレヲ今本ニフタノイハルハ當麻ヲ外
 右良ヲラギ囊ヲナギ當ヲタギニ用ヒタル上ノ宕
 綾ノ例ニ同ジ。

以上ウノ韻ヲギニ用ヒタリ
 ○うまご 望多郡上總未宇太 望ハ下ウノ音ナル
 ヲウノ韻ヲ轉ジテマクニ用ヒタリ。上ノウニ當ル字
 省ク例ハ常ニサテ和名抄ニ未宇太トアルハ後ノ音
 便ノ唱ナリ古事記ニ馬來田万葉ニ宇麻興多トアリ。
 ○いぐま 勇礼郷越後以久礼 勇ハユウノ音ナルヲ。
 イクニ用ヒタリ。ル例ハ下ニ出。 ○かぐやま 香山
 和 神武紀ニ香山此云介遇夜磨トアリ是香ノ音ヲ取
 レルシ。訓ヲ以テ香來山ナド書ルトハ異ナリ。思ヒマ
 ノタルコト例アリ。興台産靈ト云神名
 ノ興台ニ音ナルニ訓注アリ。
 以上ウノ韻ヲグニ用ヒタリ

○地名字音轉用例

○いかご 伊香郡近伊加古 ○あご 愛宕 丹波 神

名帳ニ、阿多古ト見エタリ。コレヲ香ヲカゴ、客ヲタ

ゴニ用ヒタリ。カノ音ヲ取レノ興、合ノ興、ナドモ、コウ

以上ウノ韻ヲゴニ用ヒタリ。是ト同例ナリ。

上件ウノ韻ヲ轉ジテ、カキクコニ用ヒタル地名、其

轉ジタル音、皆濁音シ、其中ニ久良ノキト、影、礼ノク

例ヲハ、清濁見レバ、此ヲム知ラネドモ、餘ノ

ンノ韻ヲマノ行ノ音ニ通用シタル例

○いさま 伊参 上野 伊佐 万 参ハサンノ音ナルヲ。

サニ用ヒタリ。 ○なま 男信 上野 奈万 之奈

男ヲナマニ用ヒタリ。 衛ノコト

以上ンノ韻ヲマニ用ヒタリ

○いぶと 夷瀆 上總 伊志美 瀆ハジンノ音ナルヲ。

ジニニ用ヒタリ。 此燈心ナドモ、但シ古事記ニハ伊自牟

トアリ。モトハ然云レナルベシ。サガムヲサガミト云ハ。

ノ唱テ、後 書紀ニハ伊甚トアリ。 ○あづと 安曇 郡信

阿都三 曇ヲヅニニ用ヒタリ。 ○みぐと 美含 但郷

三久美 含ヲグニニ用ヒタリ。 ○くると 玖潭 郷雲

風土記ニ久多美。和名抄ニ、潭字ヲ澤ニ誤レリ。神名帳

○みよと 美談 郷雲 風土記ニ三太三。 ○あのみ 志

地名字音轉用例

○深播之い美 書紀ニ縮見トアリ。古事記ニハ志自牟。

○いあゝ 印南播伊奈美 南ハナシノ音ヲ轉ジテ。

ナニニ用ヒタルナリ。伊邪那美神ノ御名ノ那美ヲ書

紀ニ舟ト書レタルモ。此ト同例シ。再ハ史記正義ニ奴

冊反ト作ルハ。具音ナシナリ。コレヲ書紀今本ドモニ

寫誤ナリ。○いざゝ 和整濃 天武紀ニ見ユ。万

葉ニニ和射見トアリ。整ヲザミニ用ヒタリ。○み

之らく 曼樂 肥前 續後紀六ニ見ユ。万葉十六ニ美

弥良久トアル是ナリ。曼吳音ミンヲ。ミハニ用ヒタリ。

以上シノ韻ヲミニ用ヒタリ

○あゝ 南佐 郷雲 風土記ニ云ク故云南佐神龜三

牟改字滑狭トアリ。然ルヲ和名抄ニ南佐ト滑狭トヲ
別ニ舉タルハマギレタル誤ナルベシ。

右シノ韻ヲメニ用ヒタリ

○あども 惠曇 郷雲 風土記ニ惠伴ト見エ。惠行モ社

モアリ。

右シノ韻ヲモニ用ヒタリ

シノ韻ヲナノ行ノ音ニ通用シタル例

○志那の 信濃 國 之奈乃 信ヲシナニ用ヒタリ。

古事記ニ科野トアリ。濃字モ。又ノ假字ナレ

○いあ

○地名字音轉用例

〇因幡國以奈ハ古事記ニ稚羽トアリ。〇乃那
 貝。負辨郡勢。為奈倍。〇いねさ。引佐遠伊奈佐
 〇うねで。雲梯和宇奈天。〇なまふち。男信上野
 奈万之奈界ハ上ニ出ト。以上シノ韻ヲナニ用ヒタリ
 〇ふおえ。丹波國太述波。丹ヲタニ用ヒタリ。後
 此ヲタシバト唱ルハ音便ニ類レタルモノシニ
 ント云音便常ニ多シ。難波ヲナシバト云ナドモ同ジ
 波モト清音ナルヲ。ハ。濁レリ。此ヲハテ。濁ルナリ。九
 テ音便ノシノ下ハ。濁レリ。此ヲハテ。濁ルナリ。九
 ヲ字音フニ因非ズ。〇おせくお。乙訓山於止久述
 訓ヲクニ用ヒタリ。乙ノコト。〇さふふ。遠敷郡若
 訓ヲクニ用ヒタリ。乙ノコト。〇さふふ。遠敷郡若

乎尔布。〇やまくお。養訓郷藝也万久尔。〇乃おえ
 難波津。古事記ニ那尔波。以上シノ韻ヲニ用ヒタリ

〇さぬき。讚岐國佐奴岐。讚ヲサヌニ用ヒタリ。

〇さぬき。散吉郷和。是ハ神名帳ニ。讚岐神社トアル

處ナルベク思ハル。故ニサヌキトセリ。廣瀨郡ニ。

〇みぬち。敏馬津。万葉ニ美奴面又三犬女ナドモ

アリ。敏具音ミンヲ。ミヌニ用ヒタリ。〇みぬめ

汶賣同上。神名帳ニ見ユ。〇ちぬ。珍泉。万葉十

六。又姓氏録ナドニ見ユ。古事記ニ血沼。書紀ニ茅渟。續

〇地名字音轉用例

シユヲ直音ニシノ韻ヲ轉ジテスルニ用ヒタリ。○ク
 シテスニ用ヒ。シノ韻ヲ轉ジテスルニ用ヒタリ。○ク
 我ガ敦ヲトヲツニ轉ジニナルニ轉ジテツルニ用ヒ
 タリ。但此名モトハツヌガニテ古書ニ角鹿トアリ。
 ○クはへ。訓覇勢久留倍。○クはへ。訓覓郷久
 留倍木

以上ノ韻ヲルニ用ヒタリ

入聲フノ韻ヲ同行ノ音ニ通用シタル例
 ○何ゆは。愛甲相阿由加波。甲ヲカハニ用ヒタ

リ。愛ノコト。○おろき。邑樂上野於波良岐。邑
 ハ具音オフナルヲオハニ用ヒタリ。樂ノコト。○さ
 ぞ。雜太。佐佐波太。○いざを。伊雜郷。神名帳
 ニ伊射波トアリ。和名抄本雜字ヲ推ニ誤レ。○そ加
 ぞ。蘇甲郷。讚曾加波。○かをし。合志肥後加波志
 以上フノ韻ヲハニ用ヒタリ

○いひや。揖保郡。播伊比保。揖ヲイヒニ用ヒタリ。
 ○何ゆ。始羅郡。阿比良。始ハ鳥合反ニテ。アフノ
 音ナルヲアヒニ用ヒタリ。○きひを。給黎薩岐比
 礼。給ヲキヒニ用ヒタリ。○いひ志ろ。邑代郷。遠伊

地名字音轉用例

比之呂。 ○さむの 雜賀紀 万葉六ニ在日鹿。

以上フノ韻ヲヒニ用ヒタリ

○おむち 邑知能郷於保知 ○おやく 邑久備前

於保久 ○ほい紀 法吉郷雲 神名帳ニモ風土記ニ

モタバ法吉トアリテホ、キト唱フベキコトハ見エ

ザレドモ必然唱フベクオボユ。其故ハ風土記ニ此郷

神魂命御子宇武賀比賣命法吉鳥化而飛度静坐此處

故云法吉トアル法吉鳥ハ鳴声ニヨレル名ニテ必ホ

ホキレバト訓テ驚ノコト聞エタリ。以上フノ韻ヲホニ用ヒタリ

入聲ツノ韻ヲ同行ノ音ニ通用シタル例

○きごら 設樂郡三志太良 設ヲシダニ用ヒタリ。セ

ル例ハ下ニ出 ○むくら 達良郷房太良 ○とく

み 忽美郷雲 風土記ニ見ユ。後ニ改メテ致潭ト書リ。

忽ヲククタニ用ヒタリ。コヲクハ下ニ出セリタ

以上ツノ韻ヲタニ用ヒタリ

○ちぶ 秩父郡武知夫 秩ヲチニ用ヒタリ

右ツノ韻ヲチニ用ヒタリ 但ツノ韻ノ字

其音ニハ一日吉ハナドノ如ク多クチノ韻

ニ咄ハ是ハ通用ノ例ニハ非レドモ秩ハメ

ヅラシキ故ニ姑舉ツ。

○いどて 伊達郡 神名帳ニ出雲ナドニ伊太臣ト
云社号多シ。

右ツノ韻ヲテニ用ヒタリ

○おととふ 乙訓郡 於止久迹 乙ヲオトニ用ヒタ

リ。訓ノコト ○かたとさう 葛饒郡 下總 加止志加 葛

ラカトニ用ヒタリ但万葉ニハ勝鹿又可都思加ナド

アリ 饒野ノ葛ハ古事記ノ御哥ニ加豆怒トアリテカ

ニラノラズ此トケルナレバ字音 ○とろろぬ 物理前

郷モ止呂井物ヲモトニ用ヒタリ 下ニ出 ○か

と 佳質 備後 加之土 質ヲシトニ用ヒタリ。 ○や

家ひと 益必郷也介比止 必ヲヒトニ用ヒタリ。 益

下ト出ハ 以上ツノ韻ヲトニ用ヒタリ

入聲キノ韻ヲ同行ノ音ニ通用シタル例

○かとおる 葛饒郡 下總 加止志加 饒具音レキヲレ

カニ用ヒタリ。 葛ノ上ニ出 ○さうは 色麻郡 奥志加

○さうま 饒磨郡 和名抄ニ唱ノ注ハナシ。

○あぢか 安直郷 藝安知加 直ヲチカニ用ヒタリ。

以上キノ韻ヲカニ用ヒタリ

入聲クノ韻ヲ同行ノ音ニ通用シタル例

○みおはく 美作國美万佐加 作ヲサカニ用ヒタ

リ。○さぐろ 相樂山佐加良加 樂ヲラカニ用

ヒタリ。相ノコト 〇わと加べ 安宿河安須加倍

宿ヲシテスニ用ヒ 韻ノクヲカニ用ヒタリ。ベニ當ル

ル例下ニ出。 〇かゞみ 各務濃加と美務ノコト

○はくま 筑摩信豆加万 〇あさる 安積奥阿佐

加 積ヲシテヤヲ直音ニ 韻ヲ轉ジテカニ用ヒタリ。

○はるど 尺度河一尺ヲサカニ用ヒタリ。和名抄本

尸ニ誤レリ。相模伯耆ナド 清寧天皇ノ御陵坂門原。此

地ナリ。 〇かゞ 〇あさる 〇ふかゞ 託

羅阿多加良 〇たかゞ 博多筑前 〇たかゞ 伯

太河 神名帳ニ見ユ。續紀十一ニ波可多。 〇あさる

加 阿理莫 泉 神名帳ニ見ユ。崇峻紀ニ有真香邑ト

アル是ナリ。 以上クノ韻ヲカニ用ヒタリ

○やまぎづ 益頭 駿 益ヲヤキニ用ヒタルニ是ハモ

ト燒津ナリ。然ルヲ和名抄ニ。末志豆ト注シタルハ。後

ニ燒ト云コトヲ忌テ。益字ノ訓ニ唄カヘタルモノナ

リ。サル例他ニモアリ。備後ノ安那郡ハ。穴ナルヲ。安字
 和ノ市郡ノ郷名テ。飲富ヲ。飯富ト書。○あちり紀邑
 カヘテ。イヒト三ト唱ルモ此類々。○あちり紀邑
 樂上野於波良岐。樂ヲラキニ用ヒタリ。ハ上ニ出
 ○ちへき。佐伯郡。藝佐倍木。伯ヨヘキニ用ヒタリ。ハ
 へニ轉用レタ。ル例ハ下ニ出。○ちへき。伯ヨヘキニ用ヒタリ。ハ
 ○たきや。筑陽郷。風土記ニ調屋トアリ。○あが
 らき。信樂近。續紀ニハ紫香樂トアリ。信ノコト
 以上クノ韻ヲキニ用ヒタリ。ハ下ニ出
 ○やまひま。益必郷也。介比止。益ヲヤケニ用ヒタ
 リ。必ノコト。ハ上ニ出

右クノ韻ヲケニ用ヒタリ

イノ韻ヲヤノ行ノ音ニ通用シタル例

○ちやし。拜師加越中阿波也之。○ちやし。拜慈

備中波也之。○ちやり。拜志豫波也之。コレヲ拜

ヲハヤニ用ヒタリ。此外諸國ニ拜志ト云郷名多シ。皆
 ハヤシニテ。林ノ意ナリ。

以上イノ韻ヲヤニ用ヒタリ

○あゆま。愛智郡尾。書紀ニ吾湯市又牟魚市。万葉ニ

モ牟魚市トアリ。然ルヲ和名抄ニ。阿伊知ト注セルハ。

後ニ訛レル唱ナリ。魚ハアノアトユヲモ。今人愛ヲアユニ用
 ヒタリ ○何也かそ 愛甲相阿由加波ハ上ニ出
 以上イノ韻ヲユニ用ヒタリ

アノ行ノ音同行通用セル例

○何ご 英虞郡阿呉 ○何いゝ 英多郡安伊多
 ○あが 英賀備中郡阿加 是ヲ英ヲア又アイニ用
 ヒタリ。 ○何ちえ 謁睿郷丹後 神名帳ニ阿知江ト
 アル是ニ謁ヲアチニ用ヒタリ。
 ○えち 愛智郡衣知 愛ヲエニ用ヒタリ

○おむぎ 愛宕郡山於多岐 愛ヲオニ用ヒタリ。 客トノ
 ハ上 ○おほく紀 邑樂上野於波良岐 ○おふと
 出 邑美因郡石於不美 ○おやち 邑知石郡於保知
 播寺郷 邑久郡備前於保久 邑ヲ如此オニ用ヒ
 ○おやく 邑久郡備前於保久 邑ヲ如此オニ用ヒ
 タルが多キハ。此字具音オフナレバシサレバ此ハ通
 用ニハ非レドモ。此字オフノ音ヲ人多クハ知ラザル
 故ニ姑舉ツ。

カノ行ノ音同行通用セル例

○くらち 菊池郡肥後久知 神代紀ニ菊理媛後世

ニ是ヲキクチト云ハ字音ニ依テ訛レルモノナリ。

○^キく^ク海^ノ 菊^ノ麻^ノ郷^ノ上^ノ總^ノ久^ノい^ノ万^ノ和^ノ名^ノ抄^ノ本^ノ菊^ノ字^ノコレ^ノラ

菊^ノヲ^ノク^ノニ^ノ用^ノヒ^ノタ^ノリ。○^ノみ^ノぐ^ノ之^ノ美^ノ含^ノ郷^ノ三^ノ久^ノ美^ノ

含^ノヲ^ノグ^ノニ^ノ用^ノヒ^ノタ^ノリ。但^ノ此^ノ字^ノヲ^ノ用^ノヒ^ノタ^ノル^ノコ^ノト^ノハ^ノメ^ノツ

アル^ノ意^ノモ^ノ ○^ノく^ノと^ノみ^ノ 忽^ノ美^ノ郷^ノ雲^ノ 風^ノ土^ノ記^ノニ^ノ見^ノユ^ノモ^ノ出^ノニ^ノ忽^ノ

ヲ^ノク^ノタ^ノニ^ノ用^ノヒ^ノタ^ノリ。 神^ノ名^ノ帳^ノニ^ノ見^ノユ^ノ和^ノ名^ノ抄^ノニ^ノハ^ノ紺^ノ口^ノ

○^ノこ^ノむ^ノく^ノ 感^ノ口^ノ河^ノ 目^ノ郎^ノ女^ノ應^ノ神^ノ紀^ノニ^ノ滂^ノ来^ノ田^ノ皇^ノ女^ノナ^ノド^ノア^ノル^ノ皆^ノ一^ノ地^ノ名^ノシ^ノ

ト^ノア^ノリ^ノ感^ノ具^ノ音^ノコ^ノニ^ノナ^ノリ^ノ仁^ノ德^ノ紀^ノニ^ノ感^ノ玖^ノ又^ノ古^ノ事^ノ記^ノニ^ノ高^ノ

サ^ノ行^ノノ音^ノ同^ノ行^ノ通^ノ用^ノセ^ノル^ノ例^ノ

○^ノあ^ノど^ノら^ノ 設^ノ樂^ノ郡^ノ志^ノ太^ノ良^ノ 設^ノヲ^ノレ^ノダ^ノニ^ノ用^ノヒ^ノタ^ノリ^ノツ^ノ

韻^ノヲ^ノタ^ノニ^ノ轉^ノ用^ノセ^ノル^ノ例^ノハ^ノ上^ノニ^ノ出^ノル^ノ例^ノハ^ノ上^ノニ^ノ出^ノシ^ノ

○^ノあ^ノを^ノか^ノべ^ノ 安^ノ宿^ノ郡^ノ安^ノ須^ノ加^ノ倍^ノ

○^ノを^ノと^ノ 宿^ノ久^ノ郷^ノ津^ノ 神^ノ名^ノ帳^ノニ^ノ須^ノ

久^ノノ^ノ神^ノ社^ノト^ノア^ノル^ノ地^ノナ^ノリ^ノ和^ノ名^ノ抄^ノ本^ノニ^ノ久^ノ字^ノコレ^ノラ^ノハ

影^ノノ^ノシ^ノユ^ノヲ^ノ直^ノ音^ノニ^ノシ^ノタル^ノナ^ノレ^ノバ^ノ宿^ノ祿^ノ宿^ノ世^ノナ^ノ通^ノ用^ノニ

ハ^ノ非^ノレ^ノド^ノモ^ノ姑^ノ舉^ノツ^ノ 夕^ノノ^ノ行^ノノ音^ノ同^ノ行^ノ通^ノ用^ノセ^ノル^ノ例^ノ

○^ノは^ノと^ノ 筑^ノ紫^ノ國^ノ 筑^ノ又^ノ世^ノリ^ノヲ^ノツ^ノク^ノニ^ノ用^ノヒ^ノタ^ノリ^ノ

○地名字音轉用例 十六

○はくき 綴喜郡山豆の岐 綴ヲツ、ニ用ヒタリ。下
 ツヲ濁ルハ非ナリ。古事記ニモ書紀ニモ、簡ト書タリ。
 然ルニメヅラシキ綴、字ヲシモ用ヒタルハ、清濁ヲ通
 ハルカテ上ナルル美ノ割ヲ兼タル意モ ○はくえ 筑波
 アルカテ上ナルル美ノ割ヲ兼タル意モ ○はくえ 筑波
 常豆久波 ○何づと 安曇郡阿都三 墨ヲツミニ
 郡豆久波 ○何づと 安曇郡阿都三 墨ヲツミニ
 用ヒタリ。 ○はくま 筑摩郡信豆加万 ○はくろが
 敦賀越前都苗我敦ヲツルニ用ヒタリ。 ○はくま
 筑摩近 ○はくは 託馬同上 万葉三ニ見ユ。託
 ヲツクニ用ヒタリ。 ○はくぼるぬ 筑夫嶋近 三
 代實録世五ニ見ユ。神名帳ニ都久夫須麻トアリ。今チ
 シマト云ハ訛心竹
 ト書タルモツク心竹

ナノ行、ノ音同、行、通用セル例

○な 寧樂和 寧ハ奴丁反。漢音デイ。呉音ニヤウ

常ニハ漢呉共ナルヲ。ナニ用ヒタリ。但シニヤウノニ
 ニネイト 呼ラナラナド書ルハ。本音ニテ。韻ヲ省ケル例
 ナルナト 諾樂乃樂ナド書ルハ。本音ニテ。韻ヲ省ケル例
 ナリ。 諾ハ奴各反。ナレバ。呉音ナクシ。伊那那岐神ノ御
 轉用シタル 那岐ヲ。書紀ニ諾ト書レタルモ。此音ノ讀ヲ
 モ用ナリ。

ハノ行、ノ音同、行、通用セル例

○あへ 阿拜郡伊安倍 敢トモ書リ。音ハ清 拜ヲヘニ

用ヒタリ。是ハ尋常ノ假字ニモ賣米ヲメ礼ヲレ新ヲ
 テニ用ル類ト同格ナリ。礼帝ナド漢音ノレイ又書紀
 ノ假字ニハ哀愛ヲエ閑階ヲケ西細ヲせ俳珮ヲヘ味
 毎ヲメニ用ヒタル類多キモ同じ。○さへき佐伯
 藝佐倍木伯ヲヘキニ用ヒタリ。○くるへ訓覇
 郡勢久苗倍霸具音ヘナリ。然レドモ人多クハ此具音
 ヲ知ラザル故ニ舉ツ。此字續紀ノ宣命ナドニモヘノ
 假字ニ用ヒラレタリ。ハ上ニ出。○霸多郷反多此
 反ハヘント唱ルヨシカハタヘカ詳ナラズ。此郷名國
 人ニ尋ヌベシ。○ふへ多配郷讀多倍

マノ行ノ音同行通用セル例

○**ら**がむ 相模 國 模ヲムニ用ヒタリ。此國名ノ事。
 上ニ云ルが如シ。○かゞみ 各勢 濃加美 勢ヲ
 ミニ用ヒタリ。○まきむく 卷目 和 万葉七ニ見
 ユモクヲムクニ用ヒタリ。常ニ纏向ナド書ケリ。外トモ
 ルハヒガ ○あむく 高目 河 古事記ニ見ユ。此地
 コトナリ。ノ事上ニ出タリ。

ヤノ行ノ音同行通用セル例

○やむや 塩治郷雲 風土記ニ止屋ヤ又夜牟ヤ夜崇ヤ神紀

ニモ止屋ヤトアリ。エンヲヤムニ用ヒタリ。後世ニ此ヲ

エンヤト唱ルハ字ニ依テ訛レルシ。和名抄本ニ治字

○いぐれ 勇礼郷越後以久礼 勇イヲイクニ用ヒタリ。

ラノ行ノ音同行通用セル例

○とゞろき 等力郷甲止呂木キ リキヲロキニ用ヒタリ。

雜ノ轉用

○な、紀 伯耆國波岐 伯シヲハ、ニ用ヒタリ。

○は、ゆ 對馬國都之シ 古事記ニ津嶋トアリ。此

意ノ名ニ然ルヲ對馬ト書ルハ漢籍魏志ニ見エタリ。

サレバ此ハモト彼國ニテ譯シタル字ナルヲソノマ

ニ用ヒラレタルモノナルベシ。其故ハツシニ對字

ヲ書ル假字ノサマソノカミ當昔皇國ノ假字ノ用ヒザマニハ

似ザレバシ。○ふ、く 鳳至郡能不布志シ ウノ韻ヲ

フニ用ヒタリ。○お、く 大伯備前郡邑 書紀ニ

見ユ。大來トモアリ。伯シヲクニ用ヒタリ。上ノオホホノ

通音ノハヘ連ツケテハクノ音ノ字ヲ用ヒタルカ。然

○さつ。早良郡前佐波良ウノ韻ヲハニ用ヒタ
 リ。○ウヅル。等カ郷甲止く呂木トウヲトバニ
 用ヒタリ。○うね。宇納越中宇那美ナフヲナ
 ミニ用ヒタリ。若クハ納ハ網ヲ誤レル字カ。丹後ノ郷
 ヲモ。納野ト誤レル例アリ。彼細野ハ神名帳ニ然ラバ
 モ見エ。今モ細野村ト云アリテ。マガヒナシ。
 ウノアマミヲ切メテ。ウナミナリ。○志、ぬ。漆沼郷雲
 風土記ニ。齋志司沼ト書ルヨシ見エタリ。シツヲシ
 シニ用ヒタリ。○も。ろ。ぬ。物理備前毛止呂井
 理ヲロキニ用ヒタル。反リキノイトメツラシ。○か
 を。賀集。淡加。之乎。シ。フ。ラ。シ。ニ用ヒタル。メツラ

シ。非。若クハ。手。字。ハ。布。ヲ。誤。レ。ル。ニ。ハ。○あつ。ね。志。筑
 淡。之。都。奈。チ。ク。ヲ。ツ。ナ。ニ。用。ヒ。タル。イ。カ。バ。奈。字。誤。写。
 郷。之。都。奈。チ。ク。ヲ。ツ。ナ。ニ。用。ヒ。タル。イ。カ。バ。奈。字。誤。写。
 此。郷。名。國。人。○か。く。ち。甲。知。郷。讚。加。久。知。カ。フ。ヲ。カ
 ニ。尋。ヌ。ベ。シ。○か。く。ち。甲。知。郷。讚。加。久。知。カ。フ。ヲ。カ
 ク。ニ。用。ヒ。タル。イ。カ。バ。久。字。ハ。○か。り。考。羅。山
 仁。德。紀。ニ。見。ユ。古。事。記。ニ。訶。和。羅。崇。神。紀。ニ。伽。和。羅。ト。ア
 ル。同。地。心。ウ。ノ。韻。ヲ。ワ。ニ。用。ヒ。タリ。○ふ。ひ。き。新。益
 和。持。統。紀。ニ。見。ユ。天。武。紀。又。持。統。紀。ニ。モ。ト。コ。ロ。ぐ。ニ
 新。城。ト。アル。ト。ニ。テ。此。二。御。世。ニ。都。ヲ。遷。シ。賜。ハ。ム。ト
 世。シ。地。心。續。紀。ニ。宝。龜。五。年。八。月。辛。新。城。宮。ト。アル。モ。此
 キ。ニ。エ。キ。ノ。音。ノ。字。ヲ。用。ヒ。ラ。レ。タル。ハ。上。伯。ノ。ル。如。シ。伯。好

○地名字音轉用例

二十

字ヲ撰ヒテナルベシ。 ○かろく 各羅 筑前 雄畧

紀武烈紀ニ見エテカワラト假字附セリ。 カクヲカ

ワニ用ヒタルカ。 ○みまね 任那 外國 此名ハ漢

籍ニモ見エタレドモト皇國ヨリ名ツケタルニテ。 ミマ

ナノ假字ニ。 百濟ヨクダラ。 新羅ヨリ。 任ヲミマニ用ヒ

タリ。 ニ用ヒタルハ通フ例多ク。 又シノ韻ヲ。 ミ

韻ノ音ノ字ヲ添タル例

ノ字ヲ添テ。 二字トセリ。 今其例ヲ此ニ舉。 タ。 一音ノ名ハ。 二字ニ書ニ足ザルガ故ニ。 其韻ノ音

○き 紀伊國 是木國ナルヲ。 キノ韻ノイノ音ノ字

ヲ添タルモノ。 下皆此ニ效ヒテ知ベシ。 ○き 基

肄 肥前 肄音イニ。 ○ゐ 渭伊遠 井以。 コハ井ト

注スベキ例ナルニ。 井以ト注セルハイカ。 ○む

斐伊郷雲 古事記ニ肥書紀ニ。 鞆ト書レタリ。 和名抄本

甲ニ誤レリ。 風土 ○む 毘伊郷肥後 ○は 都宇備

記ニ伊トアリ。 ○ゆ 由宇周 ○え 穎娃 薩江乃

後藝越後備津 ○ゆ 由宇周 ○え 穎娃 薩江乃

續紀一ニ。 衣評トアル是ナリ。 郡ヲ評ト云コト。 書紀

神代ノ可愛山陵モ此地ニ。 此事ハ古事記傳ニ委云リ。

ト云リ。 和名抄ニ。 江乃ト注レタリ。 郷名。 今國人ハエイ

エノ郡ト云トキ。 ノハヲ添テ書ルニ。 コソハアラ。 此ハ

○地名字音轉用例

○七一

娃字ハアイノ音ナルヲエニ用ヒテ添タル也。エアイヲ
 ルハ愛埃哀。○セ 弟翳 備中勢 翳字ハエノ假字
 ナドノ如シ。○セ 弟翳 備中勢 翳字ハエノ假字
 ニ添タル也。サテ弟ヲセト云ハ女ヨリハ弟ヲモ兄ト
 云ハハシ。此郷名サル由アリテ弟トハ書ルナルベシ。
 サテ此弟ハ字音ニ非ルニ韻ノ音ノ字ヲ添タルハメ
 ヅラレキ例也。○ほ 寶飲 三郡 總飲ハオノ假字也。
 ○そ 噲啖 郡 噲曾於 書紀ニ襲國トアル是シサレ
ハ曾ト注スベキ例ナルニ曾於ト注セルハイカ
 ○ま 呼啖 良平ヲ 古事記及神名帳ナドニ男トアリ
 ○せ 斗意 備後 意ハオノ假字也。○せ 覩啖

日郷 ○都於郷 此ハ都ヲトノ音ニ用ヒタルカ又ハ
 都字ハ覩ヲ誤レルモノカ何レニマレト云名ニ
 非レバ下ノ於字當ラズ。若シナラバ下ノ字字ナラデ
 尋シヌ

字ヲ省ケル例

凡テ國名郡名郷名皆必二字ニ書ベキ御サダメナル
 ニ長クシテ二字ニハ約メ難キヲバ字ヲ省キテ書タ
 リ其例ハ國名上野下野ハカミツケヌシモツケヌニ
 テ古事記ナドニハ上毛野下毛野トアルヲ毛字ヲ省

○地名字音轉用例

○ホニ

まで講家小かいて識識... 更にて此書ハ... 学者必讀記して常小... 後世と教導

二卷 安万侶奏上の序文と載て... 神代七世の段

三卷 天地初發の段... 諸神等生坐の段

四卷 かのとう島の段... 巡見土神被授の段

五卷 大八島成出の段... 御身祿の段

六卷 夜見の段... 須佐之男命御嘯の段

七卷 三柱貴御子御事依の段... 岩御子女御子御認別の段

八卷 須佐之男命御荒備の段... 大石屋戸の段

九卷 須佐之男命御被避の段... 大國主神御祖の段

十卷 須賀宮の段... 根堅洲國の段

十一卷 稻羽素免の段... 大國主神御事等の段

十二卷 少名毘古那神の段... 幸魂奇魂の段

十三卷 大年神... 天若日子の段

十四卷 國平御議の段... 日向宮御鎮座の段

十五卷 大國主神國邊の段... 後田毘古神御加の段

十六卷 後如君の段... 木花佐久夜毘賣御子産の段

十七卷 大山津見神... 網津見宮の段

十八卷 御幸易の段... 鶴羽産屋の段

十九卷 火照命奉仕の段... 鶴草草不命命御子等の段

二十卷 高岡宮の段... 白檮原宮の段

二十一卷 境岡宮の段... 浮穴宮の段

二十二卷 秋津島宮の段... 掖上宮の段

二十三卷 境原宮の段... 野野宮の段

二十四卷 水垣宮の段... 伊弉河宮の段

二十五卷 五垣宮の段... 日代宮の段

二十六卷 廿七卷 廿八卷... 景行

源又。 。 。 たふく本。とひと。観い。のどと
 躬此古拾人古。る。たれ居。はと。と。つ。次しし
 強畧業。總。の。本。も。ら。先。あ。と。よ。よ。か。一。今
 の解畧本。も。と。東。そ。ら。生。げ。人。し。て。よ。よ。か。七。の
 三作類。時。て。と。九。る。び。の。つ。々。て。く。し。せ。以。三。と
 人者。類。吟。ろ。の。も。〇。説。と。ま。い。翁。加。例。も。今。十
 る。橋。抄。古。の。一。本。え。附。枕。と。ま。い。翁。後。茂。翁。久。同。と
 千。の。口。合。る。元。〇。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の
 け。藤。の。口。合。る。元。〇。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の
 る。と。外。に。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の
 上。附。つ。ま。ふ。古。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の
 し。け。し。神。古。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の
 文。以。上。と。ま。ふ。古。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の
 と。上。し。藤。の。口。合。る。元。〇。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の
 福。九。の。口。合。る。元。〇。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の
 以。の。口。合。る。元。〇。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の
 〇。平。春。海。瀾。道。別。の。口。合。る。元。〇。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の
 二。春。海。瀾。道。別。の。口。合。る。元。〇。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の
 十。春。海。瀾。道。別。の。口。合。る。元。〇。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の
 卷。目。道。別。の。口。合。る。元。〇。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の
 卷。目。道。別。の。口。合。る。元。〇。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の

十。卷。目。道。別。の。口。合。る。元。〇。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の。活。字。本。の
 五。と。し。今。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 十。今。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 一。の。五。と。し。今。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 の。五。と。し。今。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 卷。と。し。今。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 し。九。の。今。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 今。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 八。と。今。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 と。今。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 十。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 二。九。と。今。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 と。今。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 十。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 今。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 四。と。今。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 十。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に
 三。の。概。細。持。小。の。秘。今。五。此。の。二。七。た。る。に。長。う。新。に

未小此万葉集解もべて三十卷寛政三年二月十日よ
と靴と起一正同八年八月二十七日小編成とて二月十日よ
多むび教千蔭たり也卷首小寛政三年三月十日よ
大野成例の也卷首小寛政三年三月十日よ
訓と証たり改の事歌歌及初極の勤も諸の教と比
注解の誤と改の事歌歌及初極の勤も諸の教と比
假字の取遊ら言の歌歌及初極の勤も諸の教と比
も事れく大簡益ぬら言の歌歌及初極の勤も諸の教と比
てと歌と解く大簡益ぬら言の歌歌及初極の勤も諸の教と比
小と歌と解く大簡益ぬら言の歌歌及初極の勤も諸の教と比

板元

尾州名吉屋本の通七丁目

永樂屋東四郎

三大考

鈴屋翁門人服部中庸著
の傳小初發より今如成堅
細に説小明め古刺ひ深く疑を
るに後小平田篤胤の疑を
此三考小泉原とて述の
の三考小泉原とて述の
大と小泉原とて述の
の異小泉原とて述の
の西の測算小備の
神代傳の測算小備の
小未往の測算小備の
通達なてたるもの由
更に○の本居先生の由
ねる○の本居先生の由

一冊

其生有

そしくも考出るるりもかくて天朝十夜之會
といふくしきくまぬくハウらびぬま云と稱す
とて古事記傳十七の卷の終小附らる

神代正語

三冊

書名かみよのまさみしや誂をし曰上代の史ハ上代の
遺小抄らひて古言と失ひ古意と知小害多し古事記ハ
古言と傳ふるを前とせしむるは文字の傍小片假字
つきて啓古語に訓返されぬべきを讀者も猶文字小片
だ小残らば假字小書し初心の華小よみ習せんと
おとひ發して此著述と讀もけきハ翁甚悦ひ寛政元年
四月五日の如どにぬき終られたるハ序文海と巻首
合見元たて其終裁ハ神代の巻と古事記と書紀とと
合て見元たて其終裁ハ神代の巻と古事記と書紀とと

異ていふ所のたぐいと二冊別ハあげど同史の
異るると別ハあげて又まかくもあてあるし古事記
二冊別ハあげると書紀と取古語ハあてあるし古事記
つらげりもたり神名地名をべて物名を文字とて
し先々訓注と附清濁のさより心願するマ○初学の筆
の本末もしく軽卒のりやまらうらんうし○遠江
人彩田土満序横井千秋主駭あり

出雲國造神壽後釋 二冊

往昔年々二月三月又五月二月初八日の頃出雲國造朝
廷小参て物献りて神壽といふものと對しと有其後式
の部小載りて詞と調といふ古く他書小なき神代
の傳も残りいさじく先下たき古文章なれば加茂真淵

翁の祝詞考小深くめでさふとみこれと整としてを祝
詞といひしめ万の文とまかきつべけもとまらされてよ
て世の人うりてやりの名文は古風のと知れり本若
翁といよく専らて此書の後法釋といふ更ふ
されよて後釋といひ祝詞考の後の法釋といふ更ふ
祝詞考の文と意あげ頭書とす新説を綴るつし出
小考の誤りを理て自己發明の新説を綴るつし出
寛政五年九月出雲國造俊秀封存りり同八年刻成

御遷幸長歌

折本一冊

天明八年正月晦日内裡炎上續談二年新内裡造營成り
了十一月廿二日遷幸ししゆ翁今年六十二歳都小上
了御幸つらひの大御よとひと見奉るやまれば
及哥二首なり御行列の賑ふりて長哥よひ手松大れ
よ分ちしはたり古風の張筋にして長哥よひ手松大れ
まさるははらじ入館高門御遷幸と先詳よひ田舎人の
たよりき米に彫しむ

三代調和歌類題

六冊

三代調和歌類題
三代之古今集後撰集拾遺集
調和歌類題
月大略一詞ハ三代集といづ
やさしくもべて花も実もとれ
歌大略一詞ハ三代集といづ
かきたたてさきハ三代集といづ
み人れらるもぬも三代集といづ
万葉集仙家集木抄りて世々の
小題して初学の手に教る書
の城ふる岩上氏の家の自登波
がえらみふて女小免づらし
そめたは石見野目定りか
く中山美石實相院古道の序文
れとる本居大平主の序文

小行とて初学の見るべき為として類題のあまた出来き
 ど大りとえらに疎よて哥数の多きも風解の工ら
 ぬまよと誤などまじりて害小こそなれ證例もひ
 かと座右ふおきて益あるをさし抑歌と詞やさし
 く心とれやに品高くことよむのちとさ人小
 さらむし新奇との好みとよむのちとさ人小
 擲小のみなで行てこまハ邪路小ハち入といふもの
 れむとやらくと此ありぬ更なき三代調といふもの
 して謎哥修行ありるべきむと三代調といふもの
 と和哥のまじりたる見敷く三代調といふもの
 巻尾の文政五年春松齋藤井高尙ぬし跋あり

江戸職人歌合 二冊

東北院職人哥合鶴岡放生會職人哥合などの歌ふ倣ひ
 江戸當世の職人とあつりて七月十日武草の親
 音堂の通夜し月と恋以題もて哥よみとる左右につ
 ひ名主能も哥よみ判者よみもて勝負とつけたる

やうにわくまふしたる戲筆ふて難陳もあり哥も例の
 どく俗諺とよじへあるが今の狂哥者流のえせ哥も
 ありど上手の口つさいららるく画も加へたるふその
 さよ見らぐとしいやく 興深と哥合あり

- | | | | |
|---------|---------|-----------|-------|
| 一番左名主 | 右大屋 | 二番左備者 | 右匠者 |
| 三番左八卦見 | 右人相見 | 四番左のらと | 右頼人 |
| 五番左青物賣 | 右魚賣 | 六番左虫賣 | 右笛賣 |
| 七番左馬方 | 右車引 | 八番左呉服屋 | 右うきと |
| 九番左女郎 | 右藝者 | 十番左夜鷹 | 右船橋頭 |
| 十一番左徹多 | 右乞食 | 十二番左意者 | 右臥燭 |
| 十三番左猪牙舟 | 右四ッ手駕かき | 十四番左覚兵衛獅子 | 右輕業 |
| 十五番左とみや | 右湯屋 | 十六番左紙屋 | 右茶屋 |
| 十七番左酒屋 | 右鉾屋 | 十八番左みと賣 | 右さる賣 |
| 十九番左華結 | 右経師 | 廿番左屋根普 | 右左官 |
| 廿一番左疊刺 | 右石切 | 廿二番左水々 | 右上菓子屋 |
| 廿三番左付木賣 | 右蓆賣 | 廿四番左座頭 | 右山伏 |
| 廿五番左念佛宗 | 右題目宗 | | |

石原正明弟新彫文化五年五月十五日伊豫國小

ける序ありてまゝ正明の奥書ありき
文化二年七月十日浅草寺小於
書を春季に寫して莫逆と依て傳
藤原春季の世に獨り山賊ありき
封をせしむる民小勝とてのう
浴せしむる民小勝とてのう

玉勝間 附目錄一卷 十五冊

是ハ本居翁の隨筆かしや若年
了てやてすつべきふもあらし
しこやの沙汰道にわらふと
小よれる風流今昔都のつと
よりたはるれく年酒都のま
常の人池よしあしおぞと
金下り換ふ古書と重宝と
隨筆の文化九年五月

むのうさらぬつくりはすうきやり
から物ら有るなりたまふやう
たびら有るなりたまふやう
きらせむるなりたまふやう
の巻よで前記の彫り下りて
以下ハ翁後彫り下りて
三巻のつらや彫り下りて
成り就も十四巻中の件
目録も十四巻中の件
便宜と比ひ

- 一の巻 初若親 卒茶二の巻
- 二の巻 初若親 卒茶二の巻
- 三の巻 初若親 卒茶二の巻
- 四の巻 初若親 卒茶二の巻
- 五の巻 初若親 卒茶二の巻
- 六の巻 初若親 卒茶二の巻
- 七の巻 初若親 卒茶二の巻
- 八の巻 初若親 卒茶二の巻
- 九の巻 初若親 卒茶二の巻
- 十の巻 初若親 卒茶二の巻
- 十一の巻 初若親 卒茶二の巻
- 十二の巻 初若親 卒茶二の巻
- 十三の巻 初若親 卒茶二の巻
- 十四の巻 初若親 卒茶二の巻
- 十五の巻 初若親 卒茶二の巻

發行書肆

東京日本橋通壹丁目
同 同 通二丁目
同 同 通二丁目
同 南傳馬町壹丁目
同 神田松住町
同 淺草茅町二丁目
京都三條通御幸町
同 同 柝屋町
同 同 寺町東
同 寺町四條上ル
大坂心齋橋筋北久太郎町
同 同 南久寶寺町
同 同 博勞町
同 同 南一丁目
尾州名古屋本町通八丁目

北島茂兵衛
稻田佐兵衛
小川新兵衛
吉川半兵衛
別所平七
北澤伊八
大谷仁兵衛
出雲寺文次郎
福井源次郎
田中治兵衛
柳原喜兵衛
前川善兵衛
岡田茂兵衛
松村九兵衛
片野東四郎

